

学校だより

小川中学校

No. 22

平成26年11月14日

文責：校長 佐藤正則

ダンス・ダンス・ダンス



3年男子のテストダンス

現在、保健体育科の授業は、全学年ともダンスに挑戦中です。ダンスといっても、本校が挑戦しているのは「エアロビクスダンス」です。体操をダンスにしたようなもので、かなり激しく動き、運動量があり、体も器用に動かさなければなりません。

男女とも、楽しそうにしかも真剣で一生懸命踊っている姿には、感動します。

全学年一斉三者相談 お世話になりました!

先週から5日間の日程を進めてきた三者相談が終わりました。お忙しい中、ご協力いただき、ありがとうございました。

相談で出された要望等については、これから校内で話し合いなどを通じて、対応していきたいと考えています。

のべ18人の方が来校! 学校へ行こう週間

11月1週目に3日間の学校公開日を設けましたが、のべ18人の方がお見えになり、授業の様子や学校内などを見学していかれました。



体調をくずす生徒多し!

朝夕の気温の急激な低下に伴い、体調を崩す生徒が目立ってきています。

県南では、今年度初めてインフルエンザによる学年閉鎖がありました。市内でも、14日現在、主に勿来、小名浜、湯本地区でインフルエンザ発生の報告がありました。

食事、睡眠などの基本的な生活リズムをくずさないよう指導しますので、ご家庭でもよろしくお願いします。



無遅刻連続

11月14日で

93日

目標の100日
日が目前となりました。

選択と意思決定の時

3年進路選択

県立Ⅰ期・・・学びたい学校の中で一番行きたい学校を

県立Ⅱ期・・・学びたい学校の中で合格可能性の高い学校を

高専、私立等・・・学校・学科の特色、強みを考えて

今回の3年生の三者相談は、主に進路の選択の相談でした。まだ迷っている生徒が多くいるようです。人生で初めての「選択と意思決定」の時ですから、当然のことと思います。

しかし、時間は止まってくれませんから、早めに意思決定をすることが大切です。決めたら後は、「腹をくくって」合格と中学校生活の仕上げのために全力を尽くす、という生活を送ってほしいと思っています。



県立高校は受験機会が最高3回

県立高校の入試は、10年以上前に受験機会の拡大を目的に、今の方法となりました。3回目のⅢ期は、募集定員に空きがないと実施されませんので、まずはⅠ期、Ⅱ期で考えることとなります。

Ⅰ期、Ⅱ期の選択の判断は、上のとおりです。

安易に考えない！Ⅰ期受験

Ⅰ期受験を考える上で、大切なことがあります。それは、「安易に受験しない」ということです。

「テストで合格する自信がないから」とか「早く合格を決めて、楽になりたいから」など、消極的な理由からの受験は、感心しません。それは「逃げ」だからです。そうした「逃げ」の姿勢は、その後の生き方に悪い影響を与えがちです。

高校受験は、「選択と意思決定」という点で人生の第一歩です。この時点で「逃げ」の姿勢をとってしまうと、その後の様々な選択の時にも、同じように「逃げ」の姿勢になりがちです。

また、幸いに合格すればよいのですが、ダメだった場合、そのダメージは結構大きいことです。Ⅰ期受験への努力の間、勉強はおろそかになりがちです。また、精神的なダメージから、Ⅱ期に向けての切り替えが上手くできないこともあります。Ⅰ期からⅡ期に向かう際に、そうしたハンデを背負うことも、十分に考える必要があります。

受験に挫折しないために

受験日が近づいてくると「落ちたらどうしよう」「不安で勉強が手につかない」「勉強しているのに点数が伸びない」などの様々な不安が起きることがあります。

こうしたことから上手く抜け出す方法は、実際に経験を積んで学び取っていくしかありませんが、下はその方法の例です。

1 具体的な課題を持って勉強

受験教科のそれぞれについて、自分の苦手な分野をはっきりさせて勉強することです。

自分の弱点を具体的に分析して勉強を進めましょう。同時に強みも伸ばすことです。時に弱点ばかり勉強して、得意教科が下がってしまうことがあります。

2 1日の時間の使い方を工夫

1日24時間を上手く使うことです。それは「やることとやらないことを区別する」ことから始まります。特に何をやらないかをはっきりと決断することが重要です。

3 人事を尽くして天命を待つ

やったからといって、合格できるわけではありません。だから「やるだけやって、それでもダメだったらしょうがない」と腹をくくって臨むことです。